令和５年度「専修リーダーシップ開発プログラム-第 11 期「蒼翼の学舎」-」 募集要項

Senshu Leadership Developing Program (SLDP)

【目　　的】

本プログラムは、周囲の人々の多様性を理解し、それらの人々と協働して新しい価値を創造していくのに必要不可欠な「リーダーシップ」能力を体得することが主たる目的となる。

「リーダーシップ」という言葉を聞くと、何らかの役職や地位についている人が、周囲に対して一方的に及ぼす影響力をイメージするかもしれない。しかしながら、社会に出ると、必ずしもこうしたポジションに就いている人だけでなく、それ以外の人でも、実はリーダーシップを発揮しないと自分の仕事をうまく実行することができない。とりわけ、部署や組織、あるいは国境を越えて仕事をしなければならない時代にあって、性別はもちろん、人種や宗教など様々な背景を持つ人々と協働し、ある目的を実現する能力が強く求められている。そこで、本プログラムにおけるリーダーシップとは、「ビジョン（目的）を自ら創造し、多様な他者を理解しながら、そのビジョンを実現していくために他者と協働していく能力」と定義する。それゆえ、リーダーシップは、様々な組織の中の誰にでも求められる能力となる。このように、本プログラムでは、上記で定義されたリーダーシップを発揮できる人材を育成する。

【到達目標】

1）リーダーシップとは何を意味するのか、リーダーシップを発揮する際に留意すべき行動規範にはどのようなものがあるのかなど、リーダーシップを取り巻く体系的な知力を備える。

2）リーダーシップを実践する際に必要なコア・コンピテンシー（グローバルな他者理解やコミュニケーションなどの能力）に基づいて、周囲を理解しながら影響を及ぼせるような実行力を養う。

3）学習した知識と実践した行動とを照らし合わせ、自己や他者あるいは組織や社会にとって、リーダーシップが持つ意味や意義について振り返る内省力を体得する。

【実施方法】

前期と後期に、メンバーを複数のチームに分け、ビジネス・アイデア・コンテストに取り組む。このチーム活動を行いながら、メンバー各自に求められるリーダーシップ能力を内省し、実践するための知識やスキルについて、本プログラムを通じて学習する。具体的な進行方法は、次の通りである。

1）基本的に木曜日５・６時限（連続）に行われる講座は、演習編（グループワーク、ロールプレイングなど）と理論編（演習後の参加者による振り返りや意味づけのための理論的解釈の提供など）から構成される。

2）各回の講座後には毎回課題を与え、教職員から定期的にフィードバックを行う。また講座では適宜チーム活動の報告を行い、課題をチームのメンバー・他の参加者・ファシリテーターが共有・議論し、その都度解決策について意見交換を行う。

3）講座と並行して、ビジネス・アイデア・コンテストに向けてチームで取り組み、リーダーシップを実践する。

4)最終報告会では､プログラムを通じて体得したリーダーシップ能力など個人の内省について報告する。

【対象者】

本プログラムは年次に関係なく全学生に広く募集する。実施期間中には、チーム活動を通じてリーダーシップを発揮する機会が与えられるので、必ずしも現時点でリーダーシップを実践する場がなくてもよい。将来実現したい明確なビジョンのある人はもとより、漠然とでもリーダーシップを身につけ、大学生活において何かしら一歩前に踏み出したいと考えている人にも、積極的に応募して欲しい。

【開講校舎】 生田キャンパス

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、適宜オンライン形式で実施する。

【定員】50 名程度

【選考方法】

〈書類選考〉　所定の書式に「自らのリーダーシップイメージ」「本プログラムで何を学び、どのようにリーダーシップを発揮したいか」など、具体的な志望動機を明示的に記述する。

【選考日程】

Google フォームによる申込・合格発表　4 月上旬

【その他】

2019 年度以降入学の全学部学生は、授業科目「リーダーシップ開発プログラム」として履修が可能。
履修要件等、履修に関する詳細は教務課へ問合せのこと。

【注意事項】※応募の際には以下の点について十分留意すること

① 毎週の講座・チーム活動には積極的に参加し、主体的にリーダーシップを身につけるよう努めること。
② 時間やマナーといった社会で働く上での最低限のルールを守ること。（本学の教職員などと打合せや提出物も含む）
③ このプログラムは長期活動であるため、学業・課外活動・アルバイトなどと並行して行う場合、健康管理を怠らないこと。

＜協賛＞専修大学企業家クラブ
＜問合せ先＞キャリア形成支援課（生田校舎４号館３階・神田校舎７号館２階）